

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

一九五五年度法政大学社会学部卒業論文目録

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

社会労働研究

(巻 / Volume)

5

(開始ページ / Start Page)

158

(終了ページ / End Page)

162

(発行年 / Year)

1956-03-25

一九五五年度法政大学社会学部卒業論文目録

第一社会学部

氏名 論文題目

相羽秀昭	戦後の我国に於ける失業問題
阿部克美	封建社会における莊園崩壊過程
秋山茂	日本帝国主義の特殊性 ——日本帝国主義の発生段階に於ける政治的 基盤形成期——
伊藤勝	戦後我国における労働者階級の実態
石井敏夫	中世ヨーロッパにおける手工業ギルド制度
井上正義	労働組合と政党との関係
井上国弘	日本石炭産業と合理化法
石井淳	日本の労働運動に関する考察
石渡晨二	社会保険について
伊藤俊六郎	資本主義の自由と社会主義の自由
伊藤英司	日本に於ける農家の生活水準について
尾崎了	労働者階級と統一の意義
大江宏	古代社会に於ける家族と生産の関係について
岡田英俊	日清戦争後の労働運動
大沼邦弘	週刊平民新聞とその時代

大瀬戸哲二	時事通信社と マス・コミュニケーションにおけるその役割
小野木清幸	日本原始社会の研究
上村恵	イギリス社会運動史に関する一考察
川上哲也	年少者の労働行政について
川口勝介	我国海運の発展とその独占
川上伍	三井金属鉱業の労働協約検討
梶原英信	完全雇傭政策としての 交替的財政政策の原理について
木村繁保	古代における労働用具とその影響について
木谷末弘	戦后日本労働組合運動(前期五カ年)
金鐘宙	日韓合併前後の朝鮮農村に於ける土地所有形態
橘田仁階	一般的危機における日本金融資本の確立
久保田真史	わが国における失業問題の特質について
黒沢邦男	アジア・アフリカ会議の成果と国際政治の展望
久保嗣康	近代日本資本主義の変質的發展についての考察
久保井進也	三鷹・松川事件に示された 戦後日本の政治と経済
熊谷勝衛	新聞批判序説
草野拓三	近代経済社会における マス・コミュニケーションの役割

玄 守 哲	社会政策と階級闘争との 関連性についての一考察
郡 仁	協同組合の目的役割及将来の在り方
小 松 行 彦	十九世紀英国労働史上に現れた 労働の国家的保護について
佐藤陽太郎	アジア経済の発展と日本の役割
桜井良造	女性労働の歴史とその発展性
佐藤友孝	日本資本主義の特質と労働運動の特質
佐藤美治	日本国有鉄道労働運動史
齋藤真	農地改革を基軸とした戦后農業の展開
酒井俊郎	社会科教育について
齋藤成美	現下の労働委員会三者構成を中心として
塩谷勇光	日本の政治と世論
数土清治	明治初期における社会主義思想
杉山雅康	社会政策論の歴史的考察
鈴木正利	英国労働運動初期より労働党の結成に至る迄
須藤守	明治前期我が国における 鉄道の創設と鉄道労働の成立
関一夫	戦后日本における金融資本の再編成
多田栄三	京浜急行労働組合運動史
田辺実	大河内社会政策理論の形成確立過程とその批判
谷口芳章	我が国における資本主義の発展 —日本の繊維産業—
高井郁文	現在の日本中小漁業における 雇傭・賃金問題について
竹見美智子	明治後期における政治と新聞の発達に関する一 考察 —万朝報紙を中心として—
高橋真	社会問題の史的考察
高橋操	日本紡績業の集中について
丹野誠一	現代産業社会の性格について
高橋元治	日本封建制度発展における庶民の活動
津曲千寿	日本労働運動の歴史とその性格
土穴文人	戦后の日本農業を規定する基本条件
寺沢聰	第二次世界大戦とフランス労働運動
寺沢哲夫	我が国における電気産業の確立
道念清二	戦后日本における争議を中心とした 労働運動史概観
戸田彰次	大平天国民族解放革命について
長沼耕治郎	日本における初期労働組合運動史
真原和正	道具の歴史—石器時代—
直井勝次	原始社会の一般的構造
中井幹夫	日本封建制度の成立及びその発展について
長野巖	恐慌と失業
中川原智	三池炭鉱と労働運動
名和弘平	中小企業の合理的経営について
根岸保夫	戦前及び戦后の女子労働者について

野本幸作	フランス労働史の断想
花田浩	八時間制と職場の安全
荻原澄雄	女性労働の歴史
浜弘泰	財閥の再編成について
樋口忠義	ピケッティングの正当性及び 法律的論点について
広瀬 稔	世界主要国における社会保障制度の沿革と我が 国の社会保障
日比野雅司	中小企業問題
藤井 稔	我が国資本主義発展に伴う労働諸条件について
藤本洋介	桐生織物工業を中心とする企業の実態調査
星野恒雄	産業の合理化と労働者階級
星川三吉	戦後の日本の独占資本主義による農民の収奪
丸山輝夫	大杉栄研究
真壁宗吉	社会労働史に関する一考察
松井 務	わが国における労働組合の組織形態
真島光雄	労働条件と文化的生活の均衡
増井利夫	平和的共存と民族解放の理論
馬渡 寿	戦後日本の資本主義経済下における労働運動
水野 璋	中少企業の労働事情
宮崎 洋	生活保護法について
三尾忠志	中世フランスにおける同業組合
村上 允	インドネシアにおける民族運動

第二社会学部

森田忠男	資本の本源的蓄積過程における 神奈川県下困民党事件の研究
山口雅弘	能率給
山崎茂生	機械工業の労働者に及ぼす影響
山浦宏作	農村人口に関する一考察
山本 恵	社会政策論「大河内理論」の批判
安田芳雄	野田醬油労働争議
山口精一	週刊「平民新聞」の「非戦論」 —その限界と現代的意義—
李 載元	李朝末期の農村特に地主制の形成過程について
廖 秀蓉	新中国経済の性格とその発展
若松久満男	昭和の金融大恐慌に関する考察
秋葉 誠	退職金制度の歴史とその本質について
飯田敏夫	資本主義発展と労働運動
池田信雄	マルクス労働力価値理論えの一つの接近
小川俊和	アジア経済とインドシナ
岡崎泰治	日本社会発展史論 —第一編 原始社会より奴隷制生成発展崩 壊過程—
尾竹敏夫	戦後ストライキの史的考察

岡田金次郎	片山武彦	亀田昭次	鴨下嗣夫	加藤学	菊地伸郎	木村茂生	菊地真一	倉橋宏	郡司吉雄	佐藤秀雄	佐々木範美	新藤庄一	渋谷和男	上坊久雄	諏訪恒夫	杉岡意志男	託摩秀男	田島英二
-------	------	------	------	-----	------	------	------	-----	------	------	-------	------	------	------	------	-------	------	------

社会発展史論 —第三編—封建制崩壊より資本制成立発展過程 ソ同盟共産党史について 江戸時代における庶民階級の労働形態について 証券取引所の機構と機能について 教育思想に関する一考察 社会福祉事業の現状分析に依る考察 労働価値説の発達史 日本社会政策と社会保障 古代日本に於ける農民労働史 戦後の女子労働者 戦後日本に於ける低賃金と半封建制 日本社会発展史論 —第二編—奴隸制の崩壊過程より封建制の確立過程まで— 都内労働運動の歩み 日本農業に於ける農業経営と婦人労働の役割 戦後日本資本主義の政治経済の一断面についての考察 明治維新を中心とした日本資本主義成立への一考察 日本の教師の労働組合運動に関する史的考察 労働についての社会史的考察 日本金融資本確立の史的展望
--

田中一郎	高橋茂	塚野静二	長江義雄	中島源房	中田守	梨本智宏	中島巖	新見照夫	橋森洋一	服部巖	萩原武太郎	広中晟	藤井武好	鶴田和夫	堀内鉄夫	松永孝雄	政重悦生	前迫勝仁	宮久保和明	三浦善正
------	-----	------	------	------	-----	------	-----	------	------	-----	-------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------

日本資本主義と中小企業 日本資本主義発達史上における日本紡績業推移 経営学的立場より見た企業会計 戦後の日本に於ける一協同組合とその将来にかんする考察 幼年労働 日本資本主義の分析について セクト主義の根源について 佐賀県における農業と農地改革 建設労働の生態 日雇労働者の実態 産業の機械化に関する諸問題 農村社会に於ける宗教の本質 日本資本主義の分析(終戦後) 倫理の動向 スミスの価値論 国立医療施設(主として国立病院)利用者の医療費負担区分に関する考察 社会主義社会に於ける自由 争議行為と限界について 社会労働区分及労使関係、労働体系に就いて 一九五五年度に於ける賃金闘争批判 農業問題を中心として考察せる日本の労働者の状態

一九五五年度法政大学社会学部卒業論文目録

山 山 茂
本 崎 木
友 吉 清
一 正 美

一企業内に於ける労働者の分裂への傾向と統一について
 中小工業における労働問題
 日本社会発展史論
 第四編 全般的危機に於ける資本制の展開

和 吉 横 柳
田 野 手 原
真 由 一 一
琴 美 馬 男

開港とその影響について
 争議行為の限界について
 米価の研究
 道具